

1. 件名：ATF ワークショップに関する内容説明

2. 日時：令和 4 年 12 月 6 日（火）15:00～15:40

3. 場所：web 会議

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ システム安全研究部門  
北野上席技術研究調査官  
山内技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 4 名

5. 要旨：

近年、シビアアクシデントへの進展を遅らせるような核燃料、すなわち事故耐性燃料（以下、「ATF」という。）の開発が国際的に進められている。我が国においても経済産業省資源エネルギー庁の技術開発事業として ATF の開発が行われており、これを受けて、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、「JAEA」という。）が技術基盤整備を、メーカー各社が候補材料についての技術的検討を進めている。また、原子力規制庁は、「今後推進すべき安全研究の分野及びその実施方針」（令和 4 年度以降の安全研究に向けて）において、ATF については今後知見を収集していくと位置づけている。

令和 4 年 12 月 21 日に東京大学及び JAEA の共催により、ATF に関するワークショップが web 会議として開催される予定である。本ワークショップでは専門家による講演に加えてパネルディスカッションが行われる計画であり、北野上席技術研究調査官がパネラーとして参加予定である。今般の面談では、ワークショップの概要について事務局より説明を受けるとともに、パネルディスカッションの論点、時間配分等について確認を行った。

6. その他：

なし